

陳 情 文 書 表

(令和5年12月1日)

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第43号 (5. 11. 24) 市バス運賃の値上げ中止とバス路線の充実を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 市バス運賃の値上げは中止すること。 2. 兵庫区の南北交通を改善するため、減便や市バス路線の再編は見直して、市民の声を活かした利用しやすいバス路線にすること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市兵庫区 新日本婦人の会兵庫支部 前田 みさ子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>都市交通委員会</p>

24  
2023年11月28日

神戸市会議長 坊やすなが様

神戸市兵庫区

新日本婦人の会兵庫支部

前田みさ子

市バス運賃の値上げ中止とバス路線の充実を求める陳情

現在行われている神戸市交通審議会では、「将来にわたって、公営交通として安全かつ安定的に事業を継続するため」として、市バス運賃の値上げが検討されています。12月に答申が出され、今後値上げとなるようですが、検討されている30円程度という値上げ幅は、市民への負担が大きすぎるのではないのでしょうか。

物価高騰が続き、低賃金、低年金の中で市民の暮らしは日々大変になっています。このような時になぜ追い打ちをかけるように値上げをするのでしょうか。

今年の夏の猛暑では、出歩くのも大変で、毎日の買い物時には、短い距離でも市バスを利用したという方が多く見受けられました。しかし運賃の引き上げが実施されれば、気軽に毎日乗ることも難しくなります。今でもバス代節約で、荷物が増える帰りだけバスを利用するという高齢の女性は「値上げされたら買い物に行く日を減らさないといけない」といわれていました。この様に負担が大きいため利用が減るということでは、本末転倒ではないのでしょうか。

市バスは、一番身近な公共交通であり市民の足です。気軽に利用できるように値上げは中止してください。

また、来年4月から兵庫区、長田区を中心に市バス路線の再編、減便が計画されています。兵庫区は以前から南北交通の脆弱さが課題となってきました。ところが今回の再編は、その南北交通をさらに弱めるものとなっています。

現行から100本もの便数を減らし、乗り継ぎをしなければ目的地にいけないなど、不便になるのは明らかです。これでは市民の願いに逆行するものでしかありません。不便になれば利用者もさらに減るといった悪循環にしかありません。

高齢化が進展し、自動車ではなく市バスなどの公共交通を利用する市民が今後も増えていきます。だからこそ市バス路線は市民が利用しやすいように充実させていただきたいのです。地域の市民の声を具体的に聞き、減便やバス路線再編ではなく、充実をさせてください。

#### 陳情項目

1. 市バス運賃の値上げは中止してください。
2. 兵庫区の南北交通を改善するため、減便や市バス路線の再編は見直して、市民の声を活かした利用しやすいバス路線にしてください。